

平成19年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	2152
平成18年度部名	生涯学習部	課名	生涯学習課	課長名	高橋誠司
平成19年度部名	市民活力推進部	課名	文化国際課	課長名	瀬戸茂美
事務事業名	美術品等展示事業				
予算上の事務事業名	美術品等展示事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			16120	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第6章 彩りのある市民文化を創造します				
基本施策名	第1節 多彩な市民文化の振興				
施策名	第2施策 芸術・文化をはぐくむ環境づくり				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
芸術文化振興基本法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
市民に優れた作品(美術作品や写真作品等)を鑑賞する機会を提供し、芸術文化の振興を図る。				一般市民	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
市民に優れた美術作品を鑑賞する機会を提供するため、民間美術館の協力のもと美術展を企画したが、先方の都合により実施には至らなかった。					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	3,236	0	230	3,652	3,730
一般財源	2,976	0	0	3,524	3,600
受益者負担金	260	0	0	128	130
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	992	0	66	990	990
事業コスト合計	4,228	0	296	4,642	4,720
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	美術品等展示事業			対象名称 と単位	入場者数
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	4,228	0	296	4,642	4,720
対象数	2,214	0	0	1,680	1,800
単位あたり経費(円)	1,910	#DIV/0!	#DIV/0!	2,763	2,622
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.95

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	美術展等の開催		指標式と指標の説明	美術展等の開催回数/目標開催回数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	1.0	0.0	0.0		
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
目標達成度（%）	100.0	0.0	0.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	1日平均の入場者数		指標式と指標の説明	期間中の入場者数/実開催日数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	130.2	0.0	0.0		
目標	120.0	128.0	136.0	144.0	152.0
目標達成度（%）	108.5	0.0	0.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		18年度については、民間美術館の協力のもと美術展を企画したが事業実施に至らなかった。19年度以降は事業目標の達成に向けて展示内容の充実及び市民周知等に努めていくものである。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策 市民周知の一層の充実			15 課題として認識されたこと 美術等の文化・芸術に対する市民意識の向上 (市民満足度調査の重要度・改善要望度とも51番目)		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		入場者の増加が市民文化の振興につながるため、内外に積極的なPRを図ること。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			